

■めざす学校像 「学び、交流し、発信する学校」

日本の青少年は、アメリカやドイツなどの先進国に比べ「自分自身に満足している」「自分の考えをはっきり伝える」「チャレンジ精神」等の肯定的回答が低いという結果が出ています。この問題を解決していくためには、「自分の存在を認めてもらえている」という安心感が不可欠です。“自己肯定感”、“自己有用感”を高めていくと、精神的幸福度も学力も高まると言われています。

○学校という場で、仲間とともに学べる

○保護者、教員、そして地域住民が、子どもを温かく見守っている
これが「学校での学び」の魅力です。

その学びについて、「学習」、「交流」、「発信」の3つの柱を意識しながら、“主体的で対話的で深い学び”を実現していきます。

○学習

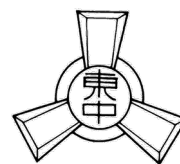
学びに対して一所懸命チャレンジし（失敗から学ぶ姿勢を大切にし、次に生かす）

○交流

自分が考えたことを仲間と交流し（お互いが温かく受け止め、影響し合う）

○発信

自分の（または仲間との）考えや創作を発信（発表）していく
（情報発信することで情報を見極める力も向上）
（見守っている人たちに、成長過程を伝える）



■学校スローガン 「学びの感動体験 ^こ東中^こに有り」

東中学校の生徒たちは、主体的に学び、交流し、発信していきます。

東中学校の先生たちは、生徒たちがよりよく伸びるために工夫していきます。

そこで生まれる“学びの感動体験”の一つ一つは、東中学校の魅力です。

■めざす子ども像 「3つの『間^ま』を大切にできる人」

1. 時間

… みんなと共に過ごす時間を、有効に使おう。

時間を意識して行動できるようになろう。

2. 空間

… どの生徒も安心して生活できる空間を作ろう。

教室を美しくしよう。不愉快な言葉が飛び交う雰囲気はなくそう。

3. 仲間

… 一人ひとりの人権を尊重しよう。

共に喜びを分かち合い、苦難を乗り越えられる友情の絆を育もう。

■教員の心構え 「子ども主体の学びを支援する伴走者」

【市教育理念】
ふるさとの つながりによる 豊かな学び ～輝く人づくりのために～

【東中学校区 めざす子ども像】
心豊かにつながる子 自ら進んで学び合い 夢に向かってたくましく生きる子
～気持ちを「伝え合う」～

【東中学校 めざす学校像】

学び、交流し、発信する学校

【東中学校 スローガン】

学びの感動体験 ^{ここ} 東中にあり

めざす子ども像

3つの「間」を大切にできる人

時間 みんなと共に過ごす時間を有効に使う

空間 誰もが安心して生活できる空間を作ろう

仲間 一人ひとりの人権を尊重しよう

授業改善 及び 生きる力の育成 の重点

●「学び、交流し、発信する学校」の教育活動

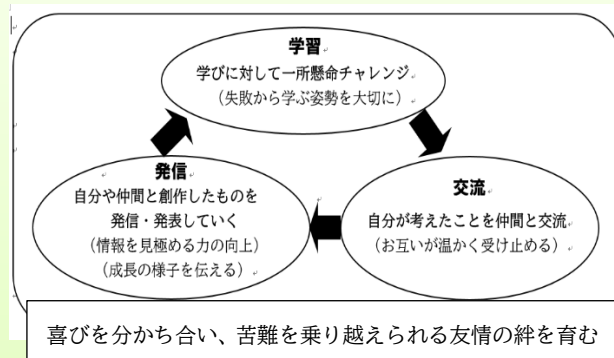
- ・「学習」、「交流」、「発信」の3つの柱を意識した教育活動を図り、「主体的で対話的で深い学び」を実現
- ・「令和の日本型学校教育」に示された『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実
 - ①支援教育の視点を取り入れた“わかる授業づくり”の定着
 - ②ICTを効果的に活用し、学力(情報活用能力を含む)を向上

●豊かな人間性の育成 及び 体力向上

- ・「考え、議論する道徳」をテーマに道徳教育を推進
- ・“本物との出会い”をキーワードに、その道のプロフェッショナルから学ぶ機会を創出し、キャリア教育と人権教育を充実
- ・全学年での体力・運動能力テストの実施

●小中一貫教育の充実

- ・「気持ちを伝え合う」をキーワードにした言語活動の充実を図る取組の推進と冊子「中学への架け橋」を活用した学習の段差解消
- ・児童生徒理解と不登校をなくすための小中生指 Co 連絡会の開催



■本校の課題

チャレンジテストはほぼすべての教科で大阪府平均以上だが「わたしは、クラスの人の役に立っている」の肯定的回答52.1%、曖昧が32.2%、否定的回答が15.7%、「わたしは保家の学年の二つの役に立っている」の肯定的回答が36.9%、曖昧が37.7%、否定的回答が25.4%である。
《2024年3月 こころのアンケート結果より》

組織改善 及び 教員育成 の重点

●教育公務員としての自覚と誇りのある教員育成

- ・生徒だけでなく教員も「3つの『間』を大切にできる人」になり、会議の効率化や職員室空間の快適化や仲間意識の醸成に励む
- ・安心して悩みを相談できる教職員集団づくり

●機動力のある組織運営

- ・スマートスクール実現モデル校の2年間の実践を生かし、ICT委員会を中心として全教員で取り組みを充実させる
- ・2大行事（体育大会と合唱コンクール）のプロジェクト委員会を中心に、教育効果と教員や生徒の負担に配慮した運営をめざす
- ・いじめ不登校対策委員会、支援教育委員会をSC等と連携しながら定期開催し、個々のケースに応じた生徒支援体制を整備

●生徒会活動の活性化

- ・PTAから生徒会費を配当して生徒会が予算執行するという、生徒による、より主体的な学校自治活動の推進
- ・2年生の夏休みにリーダー研修会を設け、リーダーを育成

●学校教育自己診断等の評価を生かした組織の点検

- ・参観日の「学校アンケート」や学校教育自己診断等を実施・分析し、PDCAサイクルを確立

地域に果たす 学校の役割

●「学びの場」、「交流の場」、「発信の場」

- ・学校がプラットフォームとなることで地域コミュニティが活性化し、そこに集う人々の相互依存関係が豊かな人間関係を育み、生徒の自己有用感高揚や将来の夢や希望に好影響を与える
- ・「学びの場」…授業参観、PTA 研修、芸術鑑賞、体育大会、合唱コンクール
- ・「交流の場」（体験の場）…学校支援ボランティア、地域の諸団体の活動
- ・「発信の場」（創造の場）…学校だより、学級だより、学校ホームページ
- ・学校運営協議会の活性化



東中学校区小中一貫教育の推進

『つながりアップ事業』～小中・地域連携の強化ではぐくむ東中学校区の子どもたち～

<児童生徒の実態>

- ・行事などに積極的に取り組む児童生徒が多い。
- ・学習に対しての意欲の格差が大きい傾向にある。
- ・他者との違いを認め、いじめ・差別をしない、許さない意識を高めていく必要がある。

<保護者・地域の願い>

- ・現在を見つめ、未来を創造する心身ともに健康で、心豊かなたくましい人間に育ってほしい。
- ・素直で明るい人に。

<市の重点施策>

1. 確かな学力の定着と学びの深化
 - 重点1. 学習指導要領の確実な実施
 - 重点2. 学力向上の取組みの充実
 - 重点3. 確かな学力をはぐくみ感性を豊かにする読書活動の充実
 - 重点4. グローバル社会における英語力の育成
 - 重点5. 一人ひとりの教育的ニーズに対応した指導・支援の充実
 - 重点6. 「ともに学び、ともに育つ」教育のさらなる推進
2. 豊かな心と健やかな体の育成
 - 重点7. 人権・多様性を尊重する教育及び心をはぐくむ教育の充実
 - 重点8. 不登校、ヤングケアラーやいじめ、暴力行為等への取組みの推進
 - 重点9. 子どもたちの生命・身体を守る体制づくり
 - 重点10. 体力づくりの推進と体育活動中の事故防止等の取組み
 - 重点11. 健康教育・安全教育の充実
 - 重点12. 子どもの自主性を尊重した部活動の取組み
3. 将来を見据えた自主性・自立性の育成
 - 重点13. 自主性・自立性を育成するキャリア教育・進路指導の推進
 - 重点14. 社会とつながる学習活動の推進
4. 多様な主体との協働
 - 重点15. 子どもたちの安全・安心を支えるための多職種連携
 - 重点16. 教育コミュニティづくりの推進
 - 重点17. 働き方改革
 - 重点18. 教職員の資質・能力の向上
 - 重点19. 学校の組織力の向上
 - 重点20. 不祥事の防止
 - 重点21. 体罰・セクハラ防止の取組み
 - 重点22. 職場におけるハラスメントの防止
 - 重点23. 「指導が不適切である」教員への対応
6. 学びを支える環境整備
 - 重点24. 防災教育の充実と安全・安心な教育環境の確保

●めざす子ども像

『心豊かにつながる子
自ら進んで学び合い
夢に向かってたくましく生きる子』

★取組の重点

「気持ちをつなぐ」

●スローガン

『中学3年生の卒業の姿に
みんなで責任をもとう!』

「学ぶ」から「学び合う」学習へ、
そして「伝え合う」
～言語活動の充実～



保護者・地域

★めざす子ども像の共有の深化

★生徒指導連絡会議

- ・いじめ防止、おおよび、不登校生減少に向けての取組み
- ・気持ちを伝え合う取組み

★学力向上の取組み

- ・総合的な学習の時間の充実(9年間の一貫した探求型学習の視点に立った取組み)
 - 総合的な学習の時間研究授業【川上小】
- ・ICT活用の推進
 - 情報活用能力を育むモデル校【天見小】
- ・主体的・対話的で深い学びの研究授業の取組み
 - ⇒【各校】
- ・乗り入れ授業(中→小:英語、算数等)

★心を育てる取組み

- ・人権教育研究授業【三日市小】
- ・「ふるさと学」(小5～中1)

★合同行事

- ・あいさつ運動
- ・リーダー育成の取組みなど

改善

教育委員会

東 中 学 校

川上小学校

小中連携

天見小学校

小小連携

三日市小学校

小小連携

地域との連携・協働

学校評価(外部評価)

健全育成会

青少年指導員

『学校運営協議会』

『地域学校協働活動本部』～支援から連携・協働へ～

学校支援コーディネーター

学校支援ボランティア

PTA会員

学校運営協議会委員

教育コミュニティの充実